

子どもの本だな 129

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

ハーモニカのめいじん レンテイル

ロバート・マックロスキー ぶんえ
まさき みるりこ やく (国土社)

レンテイルは歌が歌えず、そのうえ、口をうまくすぼめられないので、口笛もふけません。それでも音楽がしたいレンテイルはハーモニカを買い、一生懸命練習しました。学校の行き帰りもハーモニカをふきながら歩きます。レンテイルがハーモニカをふきながらいくと、道ゆく人はにっこりしました。ただひとり、にがむしじいさんだけは別でした。じいさんはだれのすることも気にいらぬのです。

あるとき、町一番の有名な、カーター大佐が町へ帰ってくることになりました。町中で歓迎会の準備をしていても、じいさんはぶつくさ文句を言い続けました。大佐が到着し、吹奏楽団が歓迎の音楽を鳴らそうとしたそのとき、「しゅるるっ！」という音がしました。見ると、じいさんが屋根の上でレモンの汁をすっています。それを見たみんなの口は酸っぱくなってすぼまってしまい、楽器をふくことができませぬ。ただひとり口をすぼめられないレンテイルがハーモニカをふき始めました。

白黒で描かれた人々の表情はいきいきと朗らかで、ハーモニカの音も聞こえてくるようです。読んでもらえば6歳くらいから楽しめます。

(秋澤)

図書館の本棚 457

ヒトとカラスの知恵比べ 生理・生態から考えたカラス対策マニュアル

塚原 直樹 著 (化学同人)

カラス研究を長年続けてきた著者は「カラス被害にお困りのあなた、まずはカラスを知ることから始めませんか？」と本書をはじめます。そして被害の実態を語り、現在の対策の検証をし、最後にカラスの生態研究の現状と被害防止法を教えてください。

カラスはゴミを荒らす以外に、畜舎に侵入して高栄養の牛の餌を食べ、乳牛の乳房をつついて血を吸うこともあるし、牛の毛を抜き菓の材料にする。農園の野菜や果物が食べごろになると集団でつついて食べ、また電柱に営巣して停電を起したりする。そんなカラスを追い払うため、ヒトは何かしらの対策をしているが、研究者である著者が行った実験はとも興味深い。中でも面白いのは、視覚に関することだ。カラスはヒトより断然目がいいそうだ。私たちヒトの網膜の視細胞は色覚に関わる3種類のセンサーがあり3原色で物を見ているが、カラスは4種類のセンサーを持ち4原色で見ている。それはカラスのセンサーが紫外線領域の光を受容するため、カラスはヒトより鮮やかな世界を見て、わずかな色の違いも識別できると考えられている。本物のハムとそっくりな食品サンプルで、どちらを選ぶか試すと、紫外線の下では100%本物を選ぶが、紫外線が届かない場合は50%と低くなる。そこで、紫外線を吸収する特殊な顔料を練りこみカラスには中身の見えないゴミ袋を開発した。開発当初、このヒトの目には半透明の黄色に見えるゴミ袋の効果は大きかったようだ。しかし、昨日まで透明なゴミ袋に生ゴミがあった場所に黄色いゴミ袋があると、それをつついてみる勘のいいカラスが現れる。結局、絶対にカラスを回避できる物はまだ開発されていないのだ。

著者はカラスを人間と生活圏を同じくする者としてとらえ、カラスの生態を理解し同じ時代を気持ちよく生活していける方法を探ろうとしている。私には、その視点が新しくカラスに寄せる気持ちが少し変わった気がする。共に生きる者として付き合っていかななくては、と思う反面、ゴミ捨て場に出没するカラスはやはり憎らしいと思ってしまう。

(西村)

お知らせ

< 特別整理期間(曝書)のお知らせ >

下記の期間、特別館内整理期間等のため休館します。

9月24日(火)～10月3日(木)

(9/25(水)は祝日の振替休館、
9/24(火)、10/1(火)は定例休館日)

※休館中は、返却ポストをご利用ください。

■曝書前の本の貸出について■

9/11(水)～9/23(月)の間、貸出日数と冊数を変更します。

・貸出日数：3週間

・貸出冊数：

・町内在住・在勤・在学の方→20冊

・広域利用の方→10冊

9月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

▶ ×印は休館日

- ・祝日の振替休館
9/18、9/25、10/16
- ・特別館内整理日
9/26～10/3

※閉館時は返却ポストをご利用ください。

▶ 開館時間：

10:00～18:00

※金曜日のみ

10:00～20:00

9月	10月	9・10月の移動図書館(いずれも木曜日です)				
5日	10日			福地(三反長) 地域内 14:30～14:50	米田 公会堂 15:00～15:20	竹広南 公民館 15:30～15:50
12日	17日			原池団地 公民館 15:00～15:20	山田 掲示板前 15:30～15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00～16:20
19日	24日	広坂 公民館 10:30～10:50	上太田 公民館 11:00～11:20	塚森 地域内 15:00～15:20	太子 ニュータウン 公民館 15:30～15:50	吉福 公民館 16:00～16:20

< お知らせ >

青空リサイクル～ひと箱市～
本の提供者募集

ダンボール箱ひと箱分の本を古本市に出しませんか？

・開催日：10月13日(日)

(雨天の場合、20日(日)に延期)

・時間：10:00～14:00

・場所：「ふるさと文化村」中庭

・申込：太子町立図書館

※無料で提供をお願いします。

※1人1箱まで。

※詳しくは、太子町立図書館まで。

地下水

不安と期待が入り混じる中で行なわれた4月1日の辞令交付式で、配属先が発表されて5か月が経過した。地元の図書館から足が遠のき20年。本を読む習慣がなかったこともあり緊張しながら足を踏み入れた日のことは今でも覚えていいる。毎日幅広い世代の利用者が本を借りに来られるが、夏休みには子ども利用が格段に増加した。「読書感想文の本についてよく尋ねられる」と聞いていたので、少しでも児童書を読もうと、『クマのプーさん』や『ぼくとくらしたフクロウたち』などを持ち帰った。児童書であっても私にとって時間はかかるが、楽しい。実際に聞かれた際に私が読んだ本を勧めると、おもしろそうだというので借りて帰ったときは安堵と嬉しさが込み上げてきた。

7月下旬と8月上旬に工作教室を開き、ダンボールでスペースシャトルを作った。参加者を募集するとすぐに定員に達した。当日は、親子ではさみやカッターを使いダンボールからパーツを切り抜き、ボンドで貼り合わせ、おしゃべりしながら一緒に組み立てていた。完成したスペースシャトルを手にした子どもたちの笑顔に私まで嬉しくなった。図書館が幼いときからの学びと楽しみ場の場になり、また私のようにきつかけがあればいつからでも本を楽しめることを感じ、今後多くの人に本を親しんでもらえるように精一杯取り組んでいきたい。

(山口)